

学科 学年	全学科 3年	科目 分類	社会と文化 Society and Culture	講義 必修	H20 通年 2単位	学習教育 目標 A	担当	野澤正信, 関野恵次 佐藤崇徳, 平田陽一郎
概要	本科目は、国際社会を生きるにふさわしい教養を培うための総合科目である。我々がおかれている現代社会の風土、コミュニティ、思想・文化を、哲学、歴史学、地理学など人文・社会科学および自然科学をも含めた学際的な視点から論じる。自然や文化の多面的な諸相に触れながら知的好奇心を高めさせることを目的とする。複数の教員が各々の専門分野から題材を選び7講を担当するオムニバス形式の授業科目である。							
科目目標 (到達目標)	世界の諸地域の風土、歴史、文化を理解し、多面的なものの見方ができる。 現代社会の諸問題に対して積極的に関心を持つことができる。							
教科書 器材等	教科書は使用しない。適宜、プリントを配布するほか、ビデオ等を用いる。							
評価の基準と 方法	各教員が担当分について評価をおこない、それらを合わせて全体の評価とする。 各教員による評価の方法と基準については、第1回のガイダンスにおいて説明する。							
関連科目	地理、歴史							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		ガイダンス						担当：野澤正信
第2回		科学思想の歴史 (1)	古代ギリシア (1)					担当：〃
第3回		〃	(2) 古代ギリシア (2)					担当：〃
第4回		〃	(3) 古代から中世へ					担当：〃
第5回		〃	(4) 中世から近代へ					担当：〃
第6回		〃	(5) 近代西洋 (1)					担当：〃
第7回		〃	(6) 近代西洋 (2)					担当：〃
第8回		〃	(7) 近代西洋 (3)					担当：〃
第9回		日本の歴史 (1)	古代の国際性					担当：関野恵次
第10回		〃	(2) 律令 律令実施の必要条件は何か					担当：〃
第11回		〃	(3) 宗教 仏教はどのように受容されたのか					担当：〃
第12回		〃	(4) 鎌倉と室町					担当：〃
第13回		〃	(5) 江戸時代					担当：〃
第14回		〃	(6) 製糸業と紡績業					担当：〃
第15回		〃	(7) 軍部大臣現役制					担当：〃
第16回		日中交流二千年 (1)	倭奴国と邪馬台国					担当：平田陽一郎
第17回		〃	(2) 三国志の世界					担当：〃
第18回		〃	(3) 遣隋使					担当：〃
第19回		〃	(4) 遣唐使					担当：〃
第20回		〃	(5) 蒙古襲来					担当：〃
第21回		〃	(6) 倭寇と勘合貿易					担当：〃
第22回		〃	(7) 日清戦争から日中戦争へ					担当：〃
第23回		企業と資本 (1)	会社って何？					担当：佐藤崇徳
第24回		〃	(2) 株主とはどのような存在か？					担当：〃
第25回		〃	(3) 株式市場と株価					担当：〃
第26回		都市と公共交通 (1)	都市と公共交通の現状と課題					担当：〃
第27回		〃	(2) 欧米で活用されているLRT					担当：〃
第28回		〃	(3) 日本での新しい都市交通への取り組み					担当：〃
第29回		ものづくりの経済	セル生産方式「脱・大量生産の工場改革」					担当：〃
第30回		まとめ						担当：野澤正信
※ 第2回～第29回は、1人の教員が担当する7回の授業をひとまとまりとして、クラスによって順序が異なる。								
オフィス アワー	各教員のオフィスアワーについては、第1回のガイダンスにおいて説明する。							
授業アンケート への対応	本教科の将来の必要性に関する説明について留意し、試験の採点と成績評価の基準について明確にする							
備考								
更新履歴	20080319 新規							